



広報

# いながわ

第638号

11月15日  
平成14年  
(2002年)

毎月1日・15日発行

編集・発行 猪名川町 企画部 広報コミュニティ課

〒658 0892 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 072 (766) 8707 ファックス番号 072 (767) 2255

ホームページアドレス (URL) <http://www.town.inagawa.hyogo.jp> 電子メールアドレス [koho@town.inagawa.hyogo.jp](mailto:koho@town.inagawa.hyogo.jp)

## 自分らしさが輝くまちに

に受ける夫婦



出産をひかえ、両親学級に参加し、もく浴などの指導を熱心に受ける夫婦

皆さんは「男女共同参画社会」という言葉をご存知ですか？これは昔から受け継がれてきた固定的な性別役割分担や社会通念、習慣を見直し、男だから、女だからという壁を取り去り、一人の人間として自分らしく、また性別に関係なくお互いの人権を尊重しながら、男女が家庭や地域、職場などに参画していく社会を築くというものです。

### 基本目標1 意識づくり

「男は仕事・女は家庭」「男だから・女だから」など、性別による固定観念を持っていませんか。個々の人間が性別によって差別されることなく、人間として尊重されるという考えのもとに、意識の改革を行わなければなりません。この意識づくりは基本目標2～5のすべてのベースとなります。互いのライフスタイルを受け入れ、自分自身のため、また将来を担う子ども達のために、意識づくりをしていきましょう。

#### 学校・幼稚園・保育所における教育

性別に偏りのない価値観は、幼児期からの成長過程において身につきます。性差別を助長するものを排除し、教育の場でも、男女平等観に基づいた教育を充実していきます。

#### 固定的な性別役割分担意識の改革

講演会・セミナーなどを通じて、男は仕事、女は家事・育児といった性別役割分担意識を解消し、男女がお互いの人権を大切にしながら、対等の立場でパートナーシップを築いていけるよう意識啓発などを進めていきます。

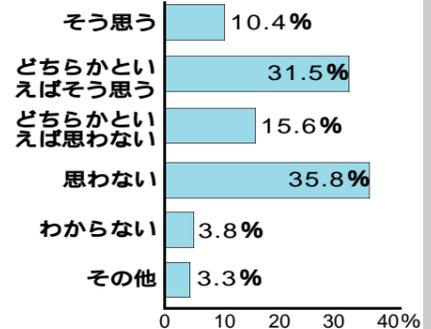
#### 性に関する教育、啓発の充実

女性の人権を脅かすセクハラ・DV（夫や恋人からの暴力）・性の商品化などをなくす啓発を行います。

#### 生涯学習の充実

各種講座をはじめ、生涯学習プログラムと連携し、男女共同参画活動に関する学習機会を提供します。

### 「男は仕事・女は家庭」という考え方



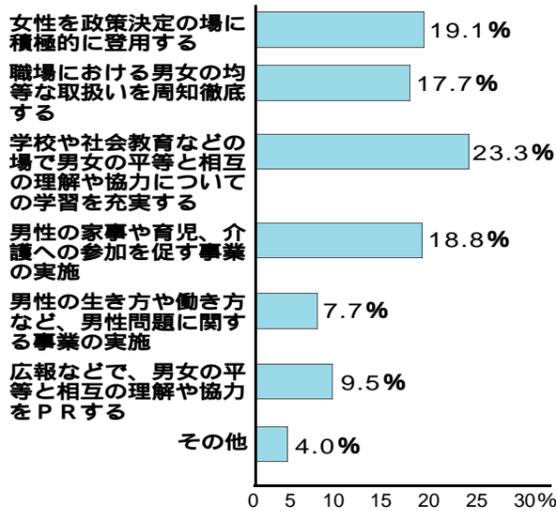
資料：平成12年 猪名川町男女共同参画に関する住民意識調査より

### 基本目標2 社会づくり

女性が政策や方針の場に積極的に参画する、また男性も女性も地域活動や子育てに参画する、これは社会全体の調和につながり、また、お互いの生活を豊かにするためには不可欠なものです。

町では、意思決定の場とされる審議会などに最低7対3以上の比率で異性を含む委員を登用していきます。また、育児休業、介護休業制度の普及や啓発を行い、男女がともに責任を果たせるようなライフスタイルを築けるよう情報提供していきます。

### 男女共同参画社会の実現に向けてどうするべきか



資料：平成12年 猪名川町男女共同参画に関する住民意識調査より

## 男女共同参画社会の実現をめざして

### 基本目標3 環境づくり

女性の就業意欲は年々高まっています。職場への進出や、管理職をめざして意欲的に就労するなど、女性自身の働き方にも変化が出てきました。また、女性就労者の多い職場への男性の進出も増加傾向にあります。

職場で男女がともに働きやすい環境が実現できるよう、とりわけ就業の場において役割分担意識の解消や、評価の格差解消、育児や家庭問題が女性に大きく負担になることから、パートナーシップを促進します。

また、育児休業制度・介護休暇の延長の導入、放課後児童を預かる学童保育の実施、保育園における保育時間延長や一時保育の実施で、女性が働き続けることのできる環境整備に努めています。



園児に食事を与える保育士

### 基本目標4 心と身体づくり

「健康でありたい」と願うのは、みんなの共通の願いです。男女ともに生涯にわたり健康に暮らせるよう、健康の自己管理や自己決定権を保障し、各年齢層にあった健康対策について保健センターを中心に実施しています。性についての悩み、エイズ等に関する正しい知識についての啓発も実施しています。また、心の不安についても相談機能を充実させ、保健センター・保育園・子育て学習センターなど相談窓口のネットワーク化も推進しています。

### 基本目標5 自立と安定

本町に限らず、母子・父子というひとり親家庭が増えています。とりわけ母子家庭は経済的自立が困難な傾向にあり、就労支援をはじめ、経済支援を充実し、父子家庭についても精神的な負担が大きいため、家庭生活を含めた施策を充実する必要があります。

また、高齢者の介護も女性の役割と固定化してきたきらいはありますが、高齢者をとりまく周辺が安心して暮らすため、介護の社会化を進めます。

## 女も男もフリースタイルで

21世紀日本の最重要課題としての「男女共同参画」

と き：11月24日(日)午後2時～同3時30分  
と ころ：中央公民館視聴覚ホール

男女共同参画講演会を開催します。講演に参加して、ともに新しい社会を築きましょう。

講 師 大阪大学大学院教授 伊藤公雄さん  
参加料 無料

託児希望者は、11月19日までに木津総合会館(768-0217)へお申込みください。